

# 中期経営方針説明会

新たなステージへ



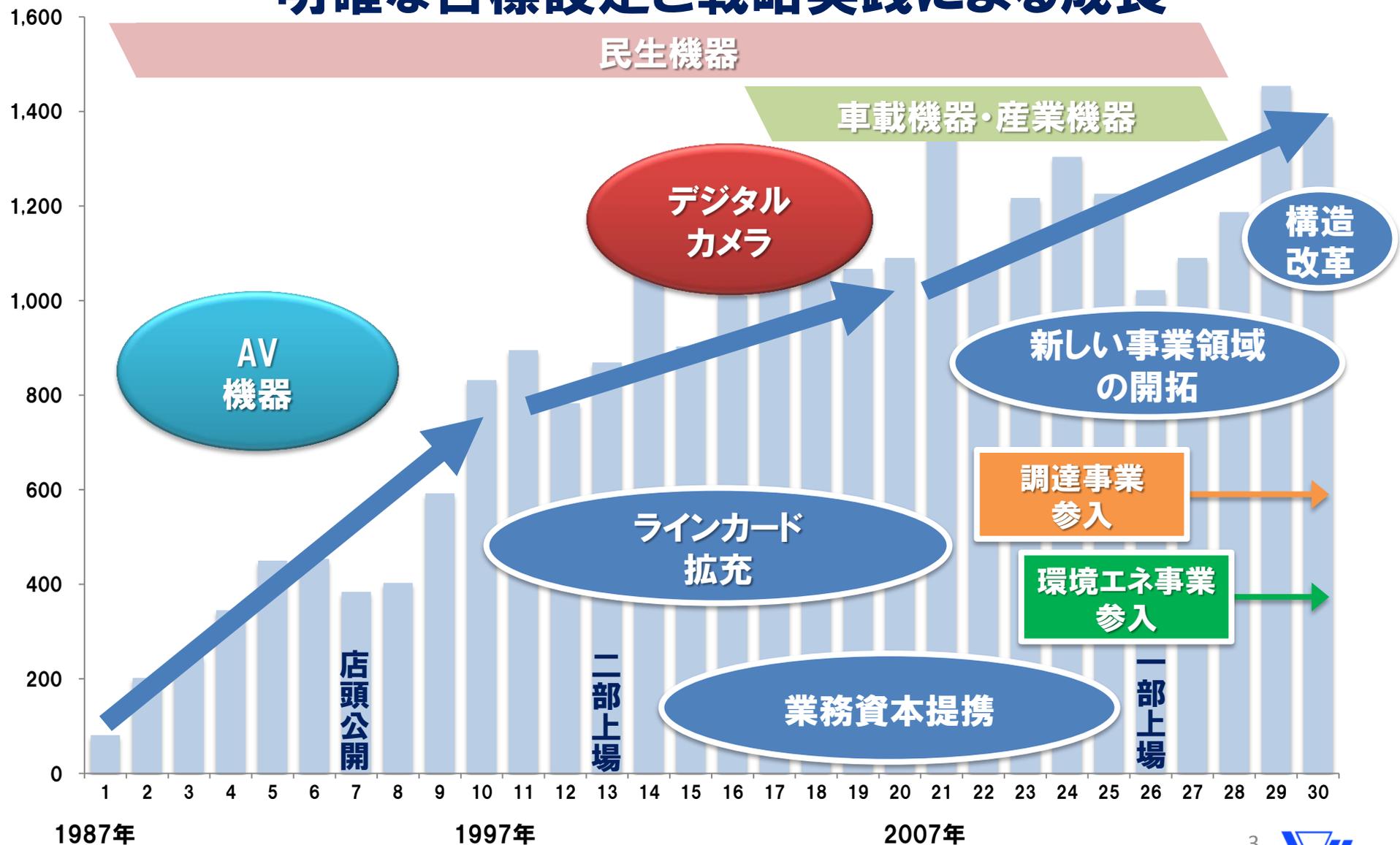
世界・社会貢献・共創

# 経営理念

**「デバイスビジネス」と  
「環境エネルギービジネス」で  
豊かな生活と  
地球にやさしい未来を  
創造する**

# 30年の成果

## 明確な目標設定と戦略実践による成長



# 経営ビジョンと事業領域

## 世界・社会貢献・共創



# 予想される潮流変化

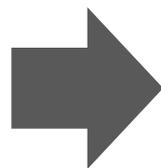
ものづくり



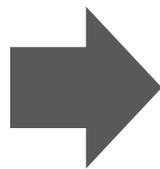
発電



食の安全



- ▶ **ビッグデータ IoT AI**
- ▶ **テクノロジーとの融合**  
**金融・医療・農業…**
- ▶ **革新的なサービス**



- ▶ **再生可能エネルギー**  
**の多様化**
- ▶ **農業の6次産業化**
- ▶ **スマート アグリ ビジネス**

# 中期方針・目標

## 『世界・社会貢献・共創』

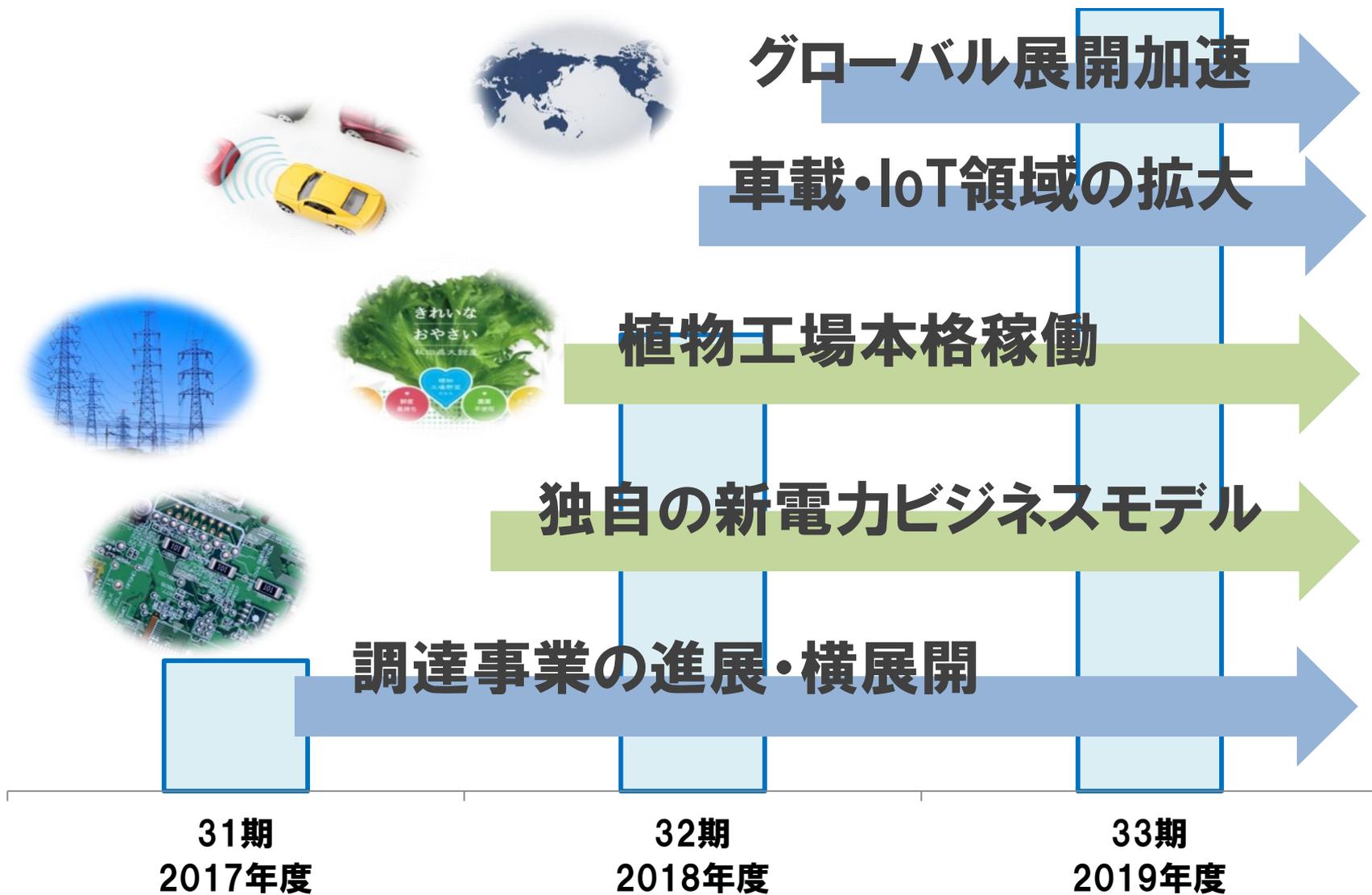
方針		エレクトロニクス 価値共創企業 新たな成長ステージへ 成長と利益の創出、高付加価値への転換	
第33期 2019年度	売上高	2,700億円	
	営業利益	56億円	2.0%
	経常利益	46億円	1.7%
	当期純利益	32億円	1.2%
	一株当たり 当期純利益	220円以上	

# 各事業の目指す姿

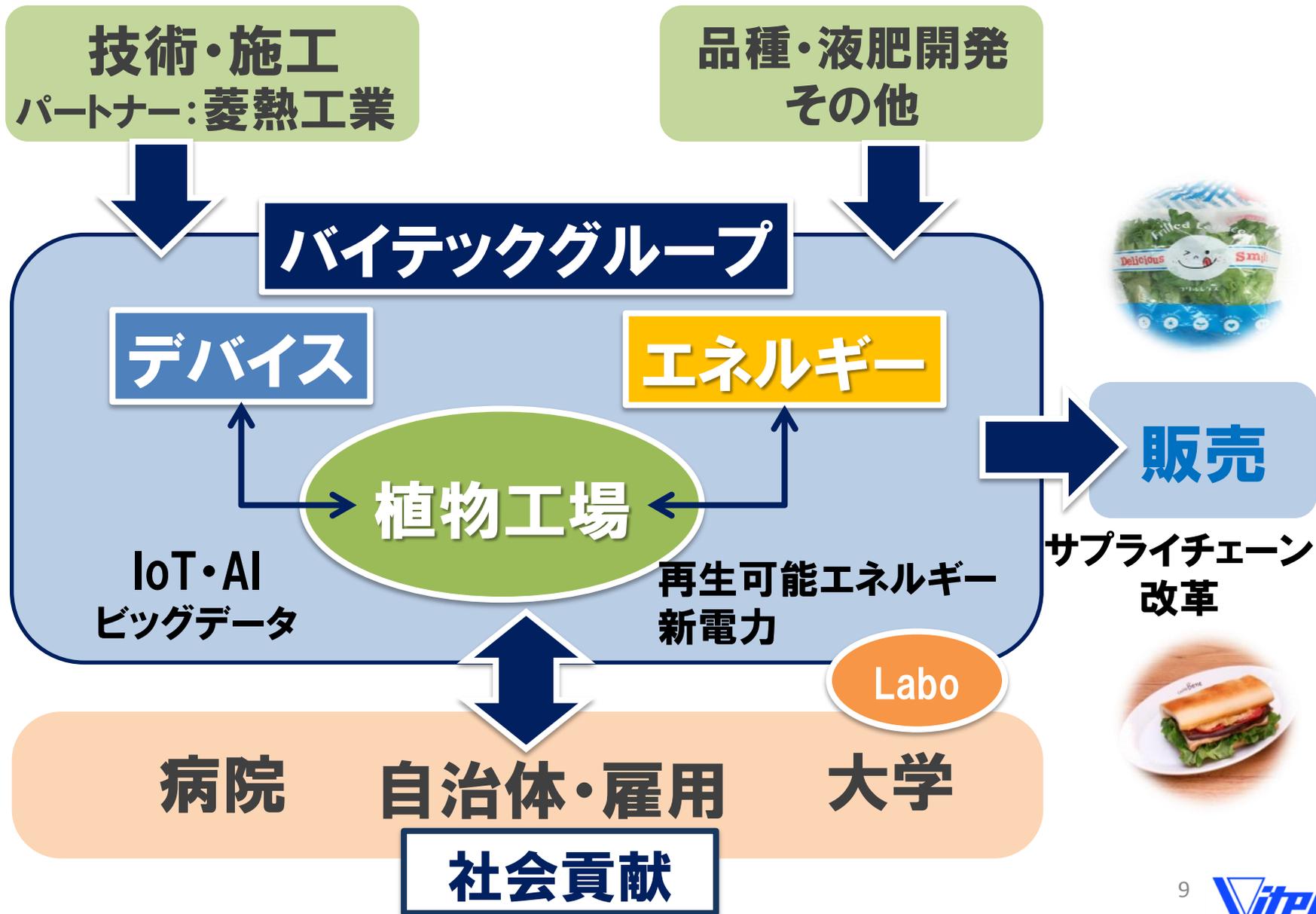
## 従来の枠組みを超えた様々な展開

		事業	重点施策
売上 2,500億 営業利益 28億	規模	デバイス	世界市場での 規模の追求と構造改革
		調達	業界の調達事業集約化と グローバル展開
売上 200億 営業利益 28億	収益	電子機器	新しい事業領域と 収益性の確保
		環境エネルギー 新電力	次世代エネルギー社会への貢献
		植物工場	業界メジャーの実現と サプライチェーン改革
全社共通		ソフトウェア・システム・メンテナンス (社会インフラ、IoT、エネルギー、機器 等)	

# 成長要因



# 植物工場事業で業界メジャーを目指す



# 主要経営指標

	中期目標	備考
自己資本比率	25%以上	財務体質の改善
DELシオ	1.0未満	
ROA	3.5%以上	資本効率の向上
ROE	15%以上	
純資産	200億円以上	資産規模の拡大
配当性向	30%以上	安定かつ継続的な配当
EPS 一株当たり純利益	220円以上	企業価値向上

<その他補足>

\* 為替予約管理方法の変更によるヘッジコストの削減

\* 在庫圧縮、キャッシュフローの活用等、事業資金創出と財務基盤のより一層の強化

\* DELシオ：有利子負債(リース債務除く)÷自己資本

# 新たな取り組み

## ▶ 人事組織体制

新たな  
執行役員制度

役割報酬制度

フラットな  
組織編制

## ▶ システム構築

基幹システム

財務管理

# 世界・社会貢献・共創



**「夢の扉は、開かれた」**



# 将来の見通しに関する注意事項

---

**この開示資料に記載されている当社の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。**

**実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。**

**実際の業績に影響を与えうる重要な外部要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動ならびに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。**